

# 何のために生きるのか

## アンパンマンから



▲入り口のアンパンマンの石像

アンパンマンのマーチ  
1993年発売

そうだ うれしいんだ  
生きるよろこび  
たとえ 胸の傷がいたんでも

なんのために生まれて  
なにをして 生きるのか  
こたえられないなんて  
そんなのは いやだ！  
今を生きること  
熱い ところ 燃える  
だから 君は いくんだ  
ほほえんで

そうだ うれしいんだ  
生きるよろこび  
たとえ 胸の傷がいたんでも  
ああ アンパンマン  
やさしい 君は  
いけ！ みんなの夢 まもるため

(作詞：やなせたかし 作曲：三木たかし  
引用元 <https://lyricjp.com/ats/a000bf7/101fac4h>)

仕事で運転中に、お気に入りの曲のリストに入れていたアンパンマンの曲を聴きました。

柳瀬嵩(やなせたかし)さんは、晩年になって子供達からの不思議な支持を受けて人気を得ていった作家です。(1919年2月6日生まれ 2013年10月13日逝去 94才)

子供向けの歌と思っていましたがよく聞くと、生きる意味への問いかけ、今を生きる大切さ、生きるよろこび、あついこころ、みんなのために！なんて高尚な歌詞でしょう。幼い子どもに、やさしく、明るく、勇気が湧き上がる歌。

ちなみに1961年に『手のひらを太陽に』を作詞しました。

やなせたかしさんは、5才で父を亡くし、自身が日中戦争に従軍、戦争で弟を失い、最愛の奥様には74才で先立たれ、子供がいなかったため、家族や親戚がいなくなっていました。60代で白内障と緑内障、70代で心筋梗塞、さらに糖尿病、脾臓、腎臓、膀胱と病と戦いました。晩年は生前に自身の遺産について、アンパンマンミュージアム(高知県)とやなせスタジオ(東京)に回すよう伝えてあります。やなせさんの人生と作品から感じること——不遇の時に人生をあきらめず、悲しみを経て、優しさに至る人生の機微。

代表作のひとつ「やさしいライオン」▶



▲当社のバス待ち休憩所 くつろぎスペース

頭の良い人は、簡単なことを難しく話し、  
 賢い人は難しいことを簡単に話すといいま  
 す。それを真つ先に感じたのが子供たちだつ  
 たのです。歌、絵本、アニメを通して人生の  
 悲しみとよろこび、そして生きる情熱を伝え  
 る使命を果たしたのですね。 (番地常夫)

出典 <https://ja.wikipedia.org/wiki/やなせたかし>

番地銘石公式 ✓

YouTube・Facebook・Twitter

SNS

始めました!



YouTube



facebook



Twitter



石工事の様子や記念碑製作の裏側、普段の仕事の様子などをこれから更新していきますので、

フォローをお願いします♪